

アイドル吸入空気量学習(急速 TAS 学習)

■適応車種

スカイライン(V36)、ノート(E11)、ティーダ(C11)、ADバン(Y12)等

『アイドル吸入空気量学習』を実施する前には、以下の条件をすべて満たしていることを確認してください。

- ・バッテリー電圧: 12.9V 以上(アイドリング時)
- ・水温: 70~95°C
- ・吸気温: 60°C以下
- ・セレクトレバー: P または N
- ・電気負荷スイッチ: OFF(エアコン、ヘッドランプ、リヤウインドデフォグ)
- ・ステアリングホイール: ニュートラル(直進状態)
- ・車速: 0km/h
- ・トランスミッションフルード: A/Tフルード 60°C以上(エンジン暖機後、約10分間走行)

アクセルペダル全閉位置学習要領

1. アクセルペダルが全閉位置であることを確認してください。
2. IG SW を OFF→ON にして 2 秒以上待ってください。
3. IG SW を OFF にして、10 秒以上待ってください。
4. 手順2と手順3を 3 回繰り返してください。

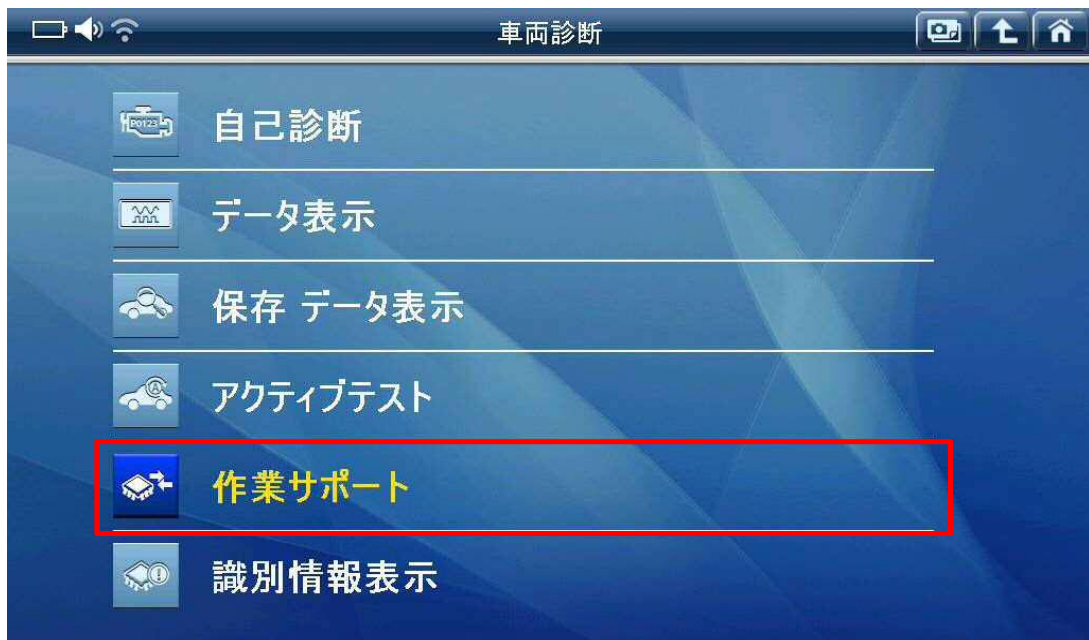
スロットル全閉位置学習要領

1. アクセルペダルが全閉位置であることを確認してください。
2. IG SW を OFF→ON にしてください。
3. IG SW を OFF にして、10 秒以上待ってください。この間にスロットルが自動的に動くかどうか、作動音を聞いて確認してください。

アイドル吸入空気量学習(急速 TAS 学習)要領

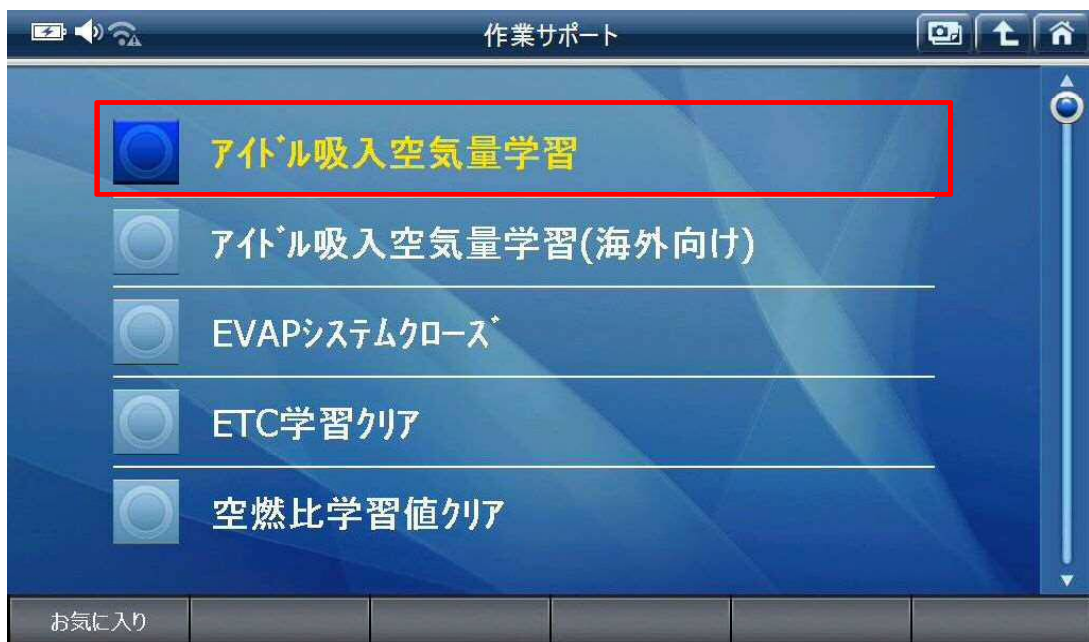
1. IG SW OFF の状態で診断コネクタ(OBD16 ピン)に G-scan を接続してください。
2. 『アクセルペダル全閉位置学習』を行なってください。
3. 『スロットル全閉位置学習』を行なってください。
4. エンジンを始動し、水温が 70～95℃になるまで、暖機運転してください。
5. ニュートラル、または N、P レンジでエンジン無負荷状態(エアコン OFF、電気負荷 OFF)であることを確認してください。
6. G-scan の電源を ON にして車種、システムを選択してください。選択するシステムに関しては『エンジン』を選択してください。

7. 『作業サポート』を選択してください。



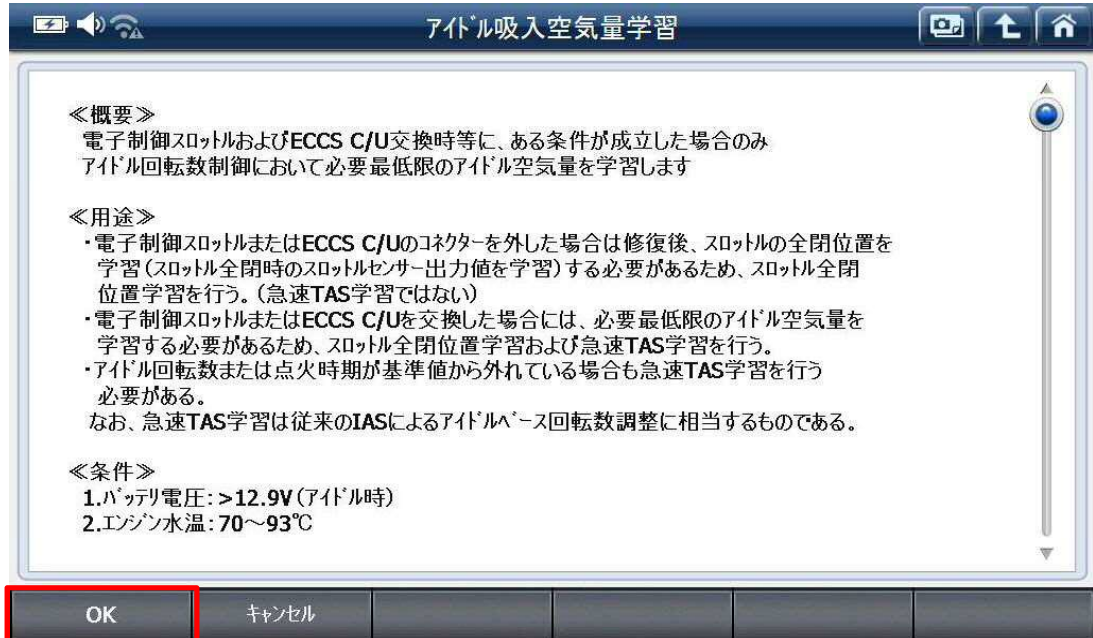
〈図: 作業サポートを選択〉

8. 『アイドル吸入空気量学習』を選択してください。



〈図: アイドル吸入空気量学習を選択〉

9. 注意事項を確認後、『OK』を選択してください。学習が完了するまでに約 20 秒ほどかかります。



〈図: アイドル吸入空気量学習の実行〉

10. 『アイドル吸入空気量学習』が正常完了後、アイドル回転数、点火時期が基準値内であることを確認してください。
基準値から外れている場合は、手順1からやり直してください。



〈図: 完了画面〉